

## 放課後等デイサービス自己評価表

とおりゃんせ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			運動する為の施設を建て、週3回通い専門職による運動遊びを行い、体力向上につとめている。指導訓練室は十分な広さがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上のスタッフを配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			誰にも利用しやすい様に工夫している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			事業所についての保護者アンケートを行い問題点、要望等について評価を公表し職員間での話し合いをもち改善策を立てている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在は利用者、社内の2者評価となっている。第三者による外部評価については実施予定はないが、今後必要に応じて検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			新人研修は、1ヶ月以内に行い、職員間での話し合いはほぼ毎日行っている。外部研修にも進んで参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談、子どもの意思等を聞き希望に添って計画を立てる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		個々の適応行動の状況を把握した上で個別療育や集団療育を行っているが、標準化されたツールは使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員全体で情報を共有し、プログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節ごと、天候、学校行事等を考慮し活動プログラムは随時工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長時間ならではの活動や課題設定を行う。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を敵宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			その日利用する子どもの状況に合わせて計画を立てている。月・木・金は、午後4時から運動施設でトレーナーによる楽しい運動を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼を行い、その日の打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			常業時間終了時には、常勤スタッフのみとなる為、ふりかえりは行うが翌朝のミーティング時には必ず伝えている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をつけている。月末にまとめもし次の支援につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に一度モニタリングを行い、利用児の状況にあわせ見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参加しているか	○			最も適切な職員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校への迎えの際、担任にその日の様子を聞くと共に、事業所での様子を伝えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			対象児は、今のところいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	○			相談支援事業所へは十分にお伝えしている。障害福祉サービスを利用することになったのかどうか、情報が入ってこない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修には積極的に参加するようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今のところ交流の機会はない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々連絡帳また口頭でお伝えしている。保護者からの意見、要望もお聞きしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			利用児について、家庭での支援の仕方や具体的な方法を伝えている。	
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始の際、管理者または、児発管より丁寧に説明を行っている。
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			その都度、行っていると共にわからない場合はよく検討し、調査した上で後日必ずお伝えしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			マニュアルがあり、クレームについては迅速に対応し、必要によっては学校や行政に情報を伝えている。職員全員に周知し、改善策を検討する。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月「お便り」を発行している。日々の食事、健康、運動などについて詳しく伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには十分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子ども、保護者にはそれぞれ伝えやすい話し方伝え方に気をつけ、伝えながらも伝わっているのかどうか確認している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		通所介護利用の高齢の皆さんとの交流は多い。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルは制作しており、保護者にも配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防署、防災士を招き、年2回以上訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回以上研修を行っている。身体的虐待また、言葉での虐待など、機会あるごとに話し合っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行ったことはなく、今後も行わないと思うが、保護者には十分に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食事に制限のある児童は、保護者が用意した物以外は提供していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	至急作成し、ファイリングし、いつでも確認できる状態にし、施設内に置くことにする。

